

イラク南部バスラ県におけるコミュニティ参画型学校修復・運営改善事業

事業開始前の様子



整備前の校庭。水はけがわるく、水たまりができるため、子どもたちは安心して遊べない。



教室の窓ガラスが破損しており、安全な学習環境ではない。



教室内部の様子。ペンキが部分的にはがれている。

1. 様々な関係者の意識向上と協力強化



学校運営委員会が開催した保護者への説明会の様子。
定期的な委員の集まりや報告会に加え、必要に合わせて、随時、説明会等が行われている。



学校運営委員会は年に2度活動報告会を開き、コミュニティからのボランティアや寄付金を募り、自発的な活動を促進している。



学校運営委員会を通じた学校改善対象校の拡大のためのファシリテータ育成研修の様子。
グループワークとして、仮想の学校改善計画の策定を行う参加者。

2. 学習環境の整備



この学校では、教室にまったく窓がなく、換気が良いとはいえない状況であったので、窓を取り付ける工事を行った。教室の壁を取り壊した後、窓が取り付けられた。



チェックリストを利用しながら、定期的に清掃状況のモニタリングを実施する教員。

3. 学校における「子どもの参加」の促進



子どもの意識向上を目指し、子ども会の絵画セッションで現在の学校の問題について話し合う子どもたち。トイレの故障、狭い校庭、限られたスポーツの機会等の問題が挙げられた。



子ども参加の理解促進のため、親や地域住民を招待して子ども会のイベントを実施。理想の学校と学校の問題について話し合った子どもたちが、他子どもたちや学校関係者に発表し、共有した。



子ども参加を広く促進するため、教員ネットワークが立ち上がった。